

の2分の1を補助する制度を設けている。維持管理方法によって、どこまで経費として認められるかということもあるが、案件毎に所有者の意向を踏まえ対応したい。

また、文化財はその地域に根差した大切な宝であるため、所有者のみならず地域の皆様のご協力を得ながら、適正な維持管理に努めていただくようお願いしたい。

**問** 罰則規定を設けたことで文化財の毀損が少しでも止められるのはありがたいが、広く周知をしなければ効果がない。この点をどのように考えているか。

**答** 条例に基づき、市が所有者に代わり被害届を出すことができるなど、文化財保護の効果は期待できる。

周知方法としては、現在186件ある市指定文化財の所有者に文書を送付し、市民には市のホームページや広報によることとしている。所有者に寄り添った管理体制を考えていきたい。

◆新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業について

**問** 当初予算では会場借上料など具体的な金額が計上されているが、接種計画はできているのか。

**答** ワクチン接種は、かかりつけ医などでの個別接種を基本的に考えているが、個別接種の進捗状況を参考に集団接種が必要かどうかを判断していきたい。

また、会場借上料は総合福祉センター4階で集団接種することを想定して計上したものである。

**問** 大洲市の対象者全員に接種する必要があるが個別接種で間に合うのか。大きな施設は総合福祉センターのみを想定しているのか。

**答** 高齢者の接種状況によって集団接種の必要性を判断して、総合福祉センター以外の会場、実施日、医療スタッフなど、協議しながら進めたい。

**意見** ワクチン接種は、国でもはっきりしたことが分からない中でいろいろ大変な状況であるが、病院の規模、医療スタッフ、接種の状況など

様々なシミュレーションをしながら、スムーズに接種できるように準備してほしい。みんなが気にしているので、情報が分かっただけならなるべく早く説明してほしい。

### 産業建設委員会

委員長 新山 勝久

◆消費促進事業について

**説明** 市内で製造・加工される商品について、新型コロナウイルス感染症の影響による消費停滞を解消し、販路拡大を図るため、送料無料キャンペーンを実施する事業者に対し、送料に係る経費を支援するもの。

**問** 市内で製造・加工される商品が対象でありいろいろなケースが考えられるが、対象となる業種や商品など、事業の詳細はどうなっているのか。

**答** この事業は、感染症の影響で消費が停滞している事業者に、送料無料キャンペーンを活用して少しでも売り上げの向上に結び付けていただきたいと考え、今回新たに予算

計上した。基本的には、販売店や生産者等がインターネット等を活用して、個人消費者に対して販売するものに関しては、業種を限定せずに入れたいと考えている。

現在実施している事業者応援チケット事業は、地元のお客さんにお店に来ていただくための支援としては効果が大きいですが、本事業は、アフターコロナを見据えれば、遠方のお客さんにも商品を販売していかねれば事業が成り立たないという事業者も出ているため、特色のある商品をどんどん全国に直接販売するものから、パウチ商品を開発して販売するといった新しいトライも含めて、できるだけ幅広く支援したいとの想いから実施するものである。

◆令和3年度大洲市水道事業会計予算について

**説明** 本市の水道事業は、飲用水を市民に供給し、公共の福祉を増進するよう運営しているが、令和3年度は、業務の予定量として、給水戸数1万8,045戸、年間総給水量